

第2期宗像市グローバル人材育成プラン



令和2年3月

宗 像 市

目 次

第1章	プラン策定にあたって	1
	1. 趣旨	
	2. 位置づけ	
	3. 対象	
	4. 期間	
	5. 策定方法	
第2章	本市のグローバル人材育成における現状と課題	3
	1. 本市が実施しているグローバル人材育成事業の現状	
	2. 課題と今後の方向性	
第3章	プランの概要	5
	1. 目指すべきグローバル人材像	
	2. 基本施策	
	3. 体系	
第4章	基本施策の達成に向けた取組	7
	1. 基本施策Ⅰ：学校教育と連携した事業展開	
	（1） お互いを尊重する ～heart～を重視した事業	
	（2） そうぞう力をもつ ～think～を重視した事業	
	（3） 世界とコミュニケーションができる ～skills～を重視した事業	
	2. 基本施策Ⅱ：地域団体や民間企業と連携した事業展開	
	（1） お互いを尊重する ～heart～を重視した事業	
	（2） そうぞう力をもつ ～think～を重視した事業	
	（3） 世界とコミュニケーションができる ～skills～を重視した事業	
	3. 「グローバル人材育成事業」の発信	
第5章	プランの進め方	11
	1. 推進体制	
	2. 進行管理	
	3. 次期プランの策定	

第1章 プラン策定にあたって

1. 趣旨

今日、情報通信技術の進展、交通手段の発達による移動の容易化、市場の国際的な開放等により、人、物材、情報の国際的移動が活性化しています。様々な分野において「国境」がなくなる“グローバル化”は、ますます加速し、日本における在留外国人の数も増加傾向にあります。厚生労働省の発表「外国人雇用状況の届出状況のまとめ（平成29年10月末現在）」によると外国人労働者は約128万人とされています。また、出入国管理及び難民認定法・法務省設置法の一部が改正され（平成31年4月1日施行）、外国人の数は、今後ますます増えることが予想されています。

また、「第3期教育振興基本計画」（文部科学省：平成30年度～令和4年度）では、教育政策の目標として「グローバルに活躍する人材の育成」を掲げています。人生100年時代を迎え、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けて人工知能（AI）やビッグデータの活用などの技術革新が急速に進んでおり、その社会の大変換の中でも、全ての人が、豊かな人生を生き抜くために必要な力を身に付け、活躍できるように、体験事業等を含め、教育の果たす役割は大きいとされています。

さらに、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程を編成する際の基準を定めている「学習指導要領」（文部科学省）においては、グローバル化や急速な情報化、技術革新など、社会の変化を見据えて、子どもたちがこれから生きていくために必要な資質や能力を身に着けることを目的に改訂が行われました。次期「学習指導要領」では、小学校の中学年で「外国語活動」、高学年で「外国語科」が導入されました。

本市においても、グローバル化に対応し、世界を舞台に幅広く活躍できる人材の育成を目的に、平成27年4月に「宗像市グローバル人材育成プラン（第1期）」を策定しました。担当部署である教育子ども部子ども育成課グローバル人材育成係を中心として、様々な事業を展開してきました。

本市には、平成29年に世界文化遺産に登録された宗像大社や、一年を通して多くの外国人が滞在するグローバルアリーナ、福岡教育大学や日本赤十字九州国際看護大学、日本アジア国際教育センターなど、豊かな地域・人材資源があります。第2期となる本プランでは、前プランによる現状と課題を整理した上で、これらの資源を有効活用した、“宗像ならではの”“宗像だからこそできる”グローバル人材育成を目指した取組を定めます。

2. 位置づけ

本プランは、「第2次宗像市総合計画」を上位計画とし、総合計画を補完する個別計画として位置づけています。本市の教育行政を推進するための基本方針である「宗像市教育大綱」を踏まえ、「宗像市学校教育基本計画」、「宗像市子ども・子育て支援事業計画（第2期）」、「参加・参画・協働による魅力あるまちづくりの基本指針」など、関連する分野別計画や指針との整合性を図ります。その上で課題の解決に向けた施策や取組を総合的かつ体系的に示しています。

3. 対象

本プランの推進にあたっては、生涯学習の視点にたち、立場や年代を問わず、すべての市民を対象とします。

4. 期間

「第2次宗像市総合計画」との整合性を図る意味から、本プランの期間は、令和2年度からの5年間とし、プランの目標年次を令和6年度とします。

また、プラン期間中であっても、社会情勢の大きな変化や市民のニーズの変化などを踏まえながら、必要に応じて適宜見直しを行います。

【関連する計画と実施期間】

H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
第2次宗像市総合計画									
宗像市教育大綱(第1期)			宗像市教育大綱(第2期)						
宗像市学校教育基本計画									
宗像市グローバル人材育成プラン(第1期)					宗像市グローバル人材育成プラン(第2期)				
宗像市子ども・子育て支援事業計画(第1期)					宗像市子ども・子育て支援事業計画(第2期)				
第1次宗像市市民活動推進プラン					参加・参画・協働による魅力あるまちづくりの基本指針				

5. 策定方法

本プランの策定にあたっては、宗像市グローバル人材育成協議会設置要綱第3条に基づき、「宗像市グローバル人材育成協議会」を組織し、グローバル人材に必要な資質や能力、本市の強みを生かした事業展開、本市グローバル人材育成の成果や課題などについて協議しました。

協議内容を踏まえ、庁内での検討を行い、本プランを策定しました。

第2章 本市のグローバル人材育成における現状と課題

1. 本市が実施しているグローバル人材育成事業の現状

本市では、前プランで掲げた3つの基本施策「本市が目指すグローバル人材像の設定と共有」「人材像の実現に向けた事業効果の向上」「本市の特色を生かした事業展開」を実施してきました。その結果、本市の資源や強みを生かした“宗像ならではの”“宗像だからこそできる”事業を市民に提供することが出来ました。

【“宗像ならではの”“宗像だからこそできる” 事業の一例】

・「宗像国際育成プログラム」

宗像国際環境100人会議に参加する民間企業等の協力を得て多分野で活躍する講師陣による講義を実施

・「むなかたガイド」

グローバルアリーナなどに滞在する外国人に、世界文化遺産である宗像大社をはじめとする名所を案内するガイド活動を実施

・「宗像市青少年海外派遣研修（ニュージーランド研修）」

20年以上にわたる友好関係をもとに現地校との交流やホームステイを実施

・「ALT（外国語指導助手）派遣事業」

多文化理解を基盤とした、外国語活動や外国語科における指導体制の充実と指導方法の工夫

・「グローバル人材活用事業」

福岡教育大学や日本赤十字九州国際看護大学、日本アジア国際教育センターなどに通う大学生や、市内在住の外国人を講師として、市内の小中学校や地域の施設へ派遣

・「グローバルアリーナ滞在団体等との交流」

グローバルアリーナに滞在する外国人団体が市立学校に訪問するなど、各国の文化を通して交流

さらに、幅広い年代に向けて事業を提供することができるようになり、発達段階に応じた継続的な学びの場を確立するに至りました。

【その他令和元年度の事業一覧】

- ・イングリッシュ・キャンプ
- ・NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡（APCC）連携事業
- ・県人会国際交流デイキャンプ
- ・日本の次世代リーダー養成塾
- ・宗像国際環境100人会議
- ・グローバル人材育成プログラム（カナダ研修）
- ・English Café

2. 課題と今後の方向性

【課題】

- 事業を実施するにあたって、事業の主体者と、目指すべきグローバル人材像との関係を整理できていない。

- すべての事業が参加希望者を対象に行っているため、限られた児童生徒にしか、グローバル人材育成事業による学びを提供できていない。

- 多くの市民が気軽に外国語や多文化に触れる機会、交流の場を創出できていない。

- 事業への市民の認知度が低く、協力者や参加者が限られ、偏りがみられる。

【今後の方向性】

(1) 施策の主体および目的を明確に設定

各事業において、学校、地域および民間企業、行政など、事業の主体者を明確にしていくために、基本施策を設定します。

また、事業のねらいを明確にしていくために、主に伸ばしたい能力ごとに事業を区分します。

(2) 学校教育との連携強化

すべての児童生徒に対して、グローバル人材育成事業による学びの機会を提供していくために、学校教育との連携を強化していくことを基本施策として設定します。

そのために、学校の教育課程への事業の位置づけを推進します。

(3) 地域や民間企業との連携強化

幅広い世代に対して、様々な場でグローバル人材育成事業による学びの機会を提供していくために、地域や民間企業との連携を強化していくことを基本施策として設定します。

そのために、市民や市民団体が主となり活躍できる場をつくり、民間企業が有する専門知識や人脈の活用を推進します。

(4) グローバル人材育成の効果的な発信

事業に対する理解を深め、事業への関わりを持ちたいと思う市民を増やすことで、市全体で取り組むグローバル人材育成を目指します。

そのために、様々な媒体を活用し、積極的かつ効果的な発信を推進します。

第3章 プランの概要

1. 目指すべきグローバル人材像

本市のグローバル人材育成の目標となる目指すべき「グローバル人材像」は、前プランにより設定され、行政だけではなく、産学官民で共有し事業展開を行ってまいりました。目指すべきグローバル人材像をさらに定着させるために、前プランで設定した人材像を継承します。

**【宗像市の目指すべきグローバル人材像】
お互いを尊重し、そうぞう力を持って、
世界とコミュニケーションができる**



お互いを尊重する ~heart~

- ◆ 自分自身や、自国の歴史と文化に対する考えを持つとともに、相手や、他国の歴史と文化を受け入れることができる

そうぞう力を持つ ~think~

- ◆ 失敗を恐れずに、様々なことに興味を持ち、新しいものを生み出すことができる

世界とコミュニケーションができる ~skills~

- ◆ 世界中の人と外国語を使って、考えを伝え合うことができる

※「自分自身」は、アイデンティティ、つまり自分の在り方を表しています。

※「そうぞう」は、創造、想像および宗像を表しています。

2. 基本施策

第2章で掲げた4つの課題と今後の方向性をもとに、本市が目指すグローバル人材像の育成に向け、以下の2つを基本施策として掲げます。

基本施策Ⅰ： 学校教育と連携した事業展開

基本施策Ⅱ： 地域団体や民間企業と連携した事業展開

3. 体系

本市には、世界文化遺産である宗像大社、グローバルアリーナ、福岡教育大学や、日本赤十字九州国際看護大学、日本アジア国際教育センターがあり、日常生活の中でグローバル化の波や世界を身近に感じることができます。また市の国際交流を推進する宗像地域国際交流連絡協議会や各地区コミュニティ運営協議会、市民活動団体などを含め、“宗像ならではの”地域資源と、年々増加傾向にある市内在住の外国人などの人材を有効活用し、“宗像だからこそできる”事業を実施することができます。それぞれの強みを生かした効果的な人材育成を目指し、各基本施策の主体を明確にしたうえで、基本施策の達成に向け、学校、地域団体、民間企業、市が積極的に連携して事業を展開していきます。

人材像	基本施策	事業区分
お互いを尊重し、 そうぞう力を持って、 世界とコミュニケーションできる	基本施策Ⅰ： 学校教育と連携した 事業展開	(1) お互いを尊重する ～heart～を重視した事業
		(2) そうぞう力をもつ～think～を重視した事業
		(3) 世界とコミュニケーションができる～skills～を重視した事業
	基本施策Ⅱ： 地域団体や民間企業と連携 した事業展開	(1) お互いを尊重する ～heart～を重視した事業
		(2) そうぞう力をもつ～think～を重視した事業
		(3) 世界とコミュニケーションができる～skills～を重視した事業

「グローバル人材育成事業」の発信

本市では、誰からも選ばれる都市となり、持続可能な都市であり続けるために、若い世代や子育て世代に選ばれる都市ブランドの確立を目指しています。未来を担う子どもたちに必要な資質や能力を養う“宗像ならではの”“宗像だからこそできる”グローバル人材育成の取組を広く発信していきます。

第4章 基本施策の達成に向けた取組

第3章で掲げた目指すべきグローバル人材像を育成するため、基本施策の事業区分ごとに、事業とその内容を示しています。

1. 基本施策Ⅰ： 学校教育と連携した事業展開

小中一貫教育1年生から9年生を対象とした取組においては、すべての子ども達がグローバル人材に求められる考え方やコミュニケーション能力を身に付けることができるように、事業を学校の教育課程に位置づけたり、小小連携や小中連携に結び付けたりするような事業を推進します。

なお、学校教育においては、各教科等の中でグローバル人材の育成に向けた教育（国際理解学習、キャリア学習、ふるさと学習など）を推進していきます。

(1) お互いを尊重する ～heart～を重視した事業

事業	内容	担当課
グローバルアリーナ滞在団体等との交流	グローバルアリーナに滞在する外国人団体が市立学校に訪問するなど、各国の文化を通して交流	文化スポーツ課 子ども育成課
宗像市少年少女海外派遣研修	ニュージーランドでのホームステイや学校交流を通して、外国の文化や言語、生活を直接体験	子ども育成課
マウントロススキル校との交流事業 (宗像市少年少女海外派遣研修)	宗像市少年少女海外派遣研修で交流している学校の生徒が、市立学校を訪問しての交流	子ども育成課
グローバル人材活用事業（文化）	学校や地域が実施する事業に対し、外国の文化や言語等の知識や経験を持つ留学生や外国人を派遣	子ども育成課

(2) そうぞう力をもつ ～think～を重視した事業

事業	内容	担当課
宗像国際育成プログラム <拡充>	世界の第一線で活躍する様々な分野の講師陣による講義や、フィールドワーク	子ども育成課

(3) 世界とコミュニケーションができる～skills～を重視した事業

事業	内容	担当課
イングリッシュ・キャンプ <拡充>	外国語活動の授業で学んだ表現を使って外国人と交流	子ども育成課
ALT（外国語指導助手）派遣事業	多文化理解を基盤とした、外国語活動や外国語科における指導体制の充実と指導方法の工夫	教育政策課
グローバル人材活用事業	学校や地域が実施する事業に対し、外国の文化や言語等の知識や経験を持つ留学生や外国人を派遣	子ども育成課
スピーチコンテスト	市立学校の代表が、決められたテーマに基づいて意見を発表	教育政策課
外国語教育担当者研修会	外国語活動から外国語科への円滑な接続を図る授業づくりの在り方に関する授業参観・協議及び講義(教員用研修会)	教育政策課

2. 基本施策Ⅱ：地域団体や民間企業と連携した事業展開

多くの市民が、グローバル人材に求められる考え方やコミュニケーション能力を身に付けることができるように、グローバル人材育成や国際交流などの知識や経験を有する民間企業や市民活動団体等との連携関係を生かした事業を推進します。

(1) お互いを尊重する ～heart～を重視した事業

事業	内容	担当課（連携先）
むなかたガイド	宗像を訪れる外国人に、宗像の魅力や名所を案内しながら交流	子ども育成課 (株グローバルアリーナ等)
NPO 法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC) 連携事業	ブリッジ・サマーキャンプにおいて、ホームステイの受入等を行い、学校や地域で交流	子ども育成課 (APCC)
県人会国際交流デイキャンプ 日本文化体験事業	福岡県が招へいた海外の福岡県人会の子女と、着付けや書道などの日本文化体験を通して交流	子ども育成課 (福岡県国際交流センター)
マウントロススキル校受入事業 (宗像市青少年海外派遣研修)	宗像市青少年海外派遣研修で交流している学校の生徒を、OBOG団体（ひつじの会）の家庭でホームステイの受入を行い各家庭で交流	子ども育成課
グローバル人材活用事業(文化)	学校や地域が実施する事業に対し、外国の文化や言語等の知識や経験を持つ留学生や外国人を派遣	子ども育成課
たまり場の開催 <新規>	宗像や日本、留学生の母国について、相互に情報発信を行いながら、国際交流	子ども育成課 (宗像地域国際交流連絡協議会)
講演会等の開催 <新規>	市民を対象とした講座に講師を派遣	子ども育成課 (宗像地域国際交流連絡協議会)
翻訳サポート事業 <新規>	留学生による市内飲食店メニュー等の多言語化を支援	子ども育成課 (宗像地域国際交流連絡協議会)
留学生支援	留学生に対し、地域行事への参加や市民とのつながりの場を提供	子ども育成課 (宗像地域国際交流連絡協議会)
姉妹都市・パートナーシップ 協定都市等との交流	姉妹都市金海市やパートナーシップ協定都市カザンラック市と、お互いの文化を通して交流	秘書政策課 文化スポーツ課
むなかた応援大使の活用	むなかた応援大使に、事業への参加・協力を通して、市の魅力の発信を依頼	秘書政策課
大規模国際大会キャンプ地誘致事業	グローバルアリーナに滞在する外国人団体が、地域の住民と各国の文化を通して交流	文化スポーツ課

(2) そうぞう力をもつ ～think～を重視した事業

事業	内容	担当課
宗像国際育成プログラム <拡充>	世界の第一線で活躍する様々な分野の講師陣による講義や、フィールドワーク	子ども育成課 (宗像国際環境会議)
日本の次世代リーダー養成塾	アジア各国の高校生と、各界の著名人による講義やディスカッションを行う2週間のサマースクール	子ども育成課 (日本の次世代リーダー養成塾)
宗像国際環境100人会議	海の環境保全についての講演会やフィールドワーク	秘書政策課 環境課
OB・OG支援	事業参加者を対象に、今後の活動の場を提供	子ども育成課 (宗像地域国際交流連絡協議会)

(3) 世界とコミュニケーションができる～skills～を重視した事業

事業	内容	担当課等
グローバル人材育成プログラム	カナダでのホームステイや、現地日本企業への訪問を通して、外国の文化や言語、生活を直接体験	子ども育成課 (宮若市、トヨタ自動車九州(株))
English Café	集まった人が外国語でのフリートーク	子ども育成課

3. 「グローバル人材育成事業」の発信

すべての市民、さらには観光客や外国人に対しても情報が行きわたるように、連携している学校、地域、民間企業、市民団体などと協力し、積極的に情報発信を行っていきます。

未来を担う子どもたちに必要な資質や能力を養う“宗像ならではの”“宗像だからこそできる”グローバル人材育成の取組を広く発信していきます。

宗像市が目指すグローバル人材育成

<目指すべきグローバル人材像>

「**お互いを尊重し、そうどう力を持って、世界とコミュニケーションができる**」

※主に伸ばしたい能力を、以下のとおり色別に示す
heart… お互いを尊重する
think… そうどう力をもつ
skills… 世界とコミュニケーションができる

幼児

- ・たまり場の開催
- ・グローバル人材活用事業 (文化)
- ・グローバル人材活用事業



小学1~4年生 (前期)

- ・グローバルアリーナ滞在団体等との交流
- ・NPO 法人アジア太平洋こども会議・イン福岡 (APCC) 連携事業
- ・マウントスキル校受入事業
- ・グローバル人材活用事業 (文化)
- ・たまり場の開催
- ・大規模国際大会キャンプ地誘致事業
- ・イングリッシュ・キャンプ
- ・ALT (外国語指導助手) 派遣事業
- ・グローバル人材活用事業



小学5~6年生 中学1年生 (中期)

- ・グローバルアリーナ滞在団体等との交流
- ・宗像市少年少女海外派遣研修
- ・マウントスキル校との交流事業
- ・グローバル人材活用事業 (文化)
- ・むなかたがイト
- ・NPO 法人アジア太平洋こども会議・イン福岡 (APCC) 連携事業
- ・県人会国際交流フェア・イベント
- ・日本文化体験事業
- ・マウントスキル校受入事業
- ・たまり場の開催
- ・大規模国際大会キャンプ地誘致事業
- ・宗像国際育成プログラム
- ・ALT (外国語指導助手) 派遣事業
- ・グローバル人材活用事業
- ・スピーチコンテスト



中学2~3年生 (後期)

- ・グローバルアリーナ滞在団体等との交流
- ・宗像市少年少女海外派遣研修
- ・マウントスキル校との交流事業
- ・グローバル人材活用事業 (文化)
- ・むなかたがイト
- ・マウントスキル校受入事業
- ・たまり場の開催
- ・講演会等の開催
- ・大規模国際大会キャンプ地誘致事業
- ・宗像国際育成プログラム
- ・OB・OG 支援
- ・ALT (外国語指導助手) 派遣事業
- ・グローバル人材活用事業
- ・スピーチコンテスト



高校生

- ・むなかたがイト
- ・マウントスキル校受入事業 (文化)
- ・グローバル人材活用事業
- ・たまり場の開催
- ・講演会等の開催
- ・姉妹都市・パートナーシップ協定都市等との交流
- ・大規模国際大会キャンプ地誘致事業
- ・宗像国際育成プログラム
- ・日本の次世代リーダー養成塾
- ・OB・OG 支援
- ・グローバル人材育成プログラム
- ・English Cafe



大学生

- ・むなかたがイト
- ・マウントスキル校受入事業
- ・たまり場の開催
- ・講演会等の開催
- ・翻訳サポート事業
- ・留学生支援
- ・大規模国際大会キャンプ地誘致事業
- ・宗像国際環境100人会議
- ・OB・OG 支援
- ・English Cafe



大人

- ・マウントスキル校受入事業
- ・たまり場の開催
- ・講演会等の開催
- ・翻訳サポート事業
- ・留学生支援
- ・むなかた応援大使の活用
- ・大規模国際大会キャンプ地誘致事業
- ・宗像国際環境100人会議
- ・OB・OG 支援
- ・外国語教育担当者研修会
- ・English Cafe



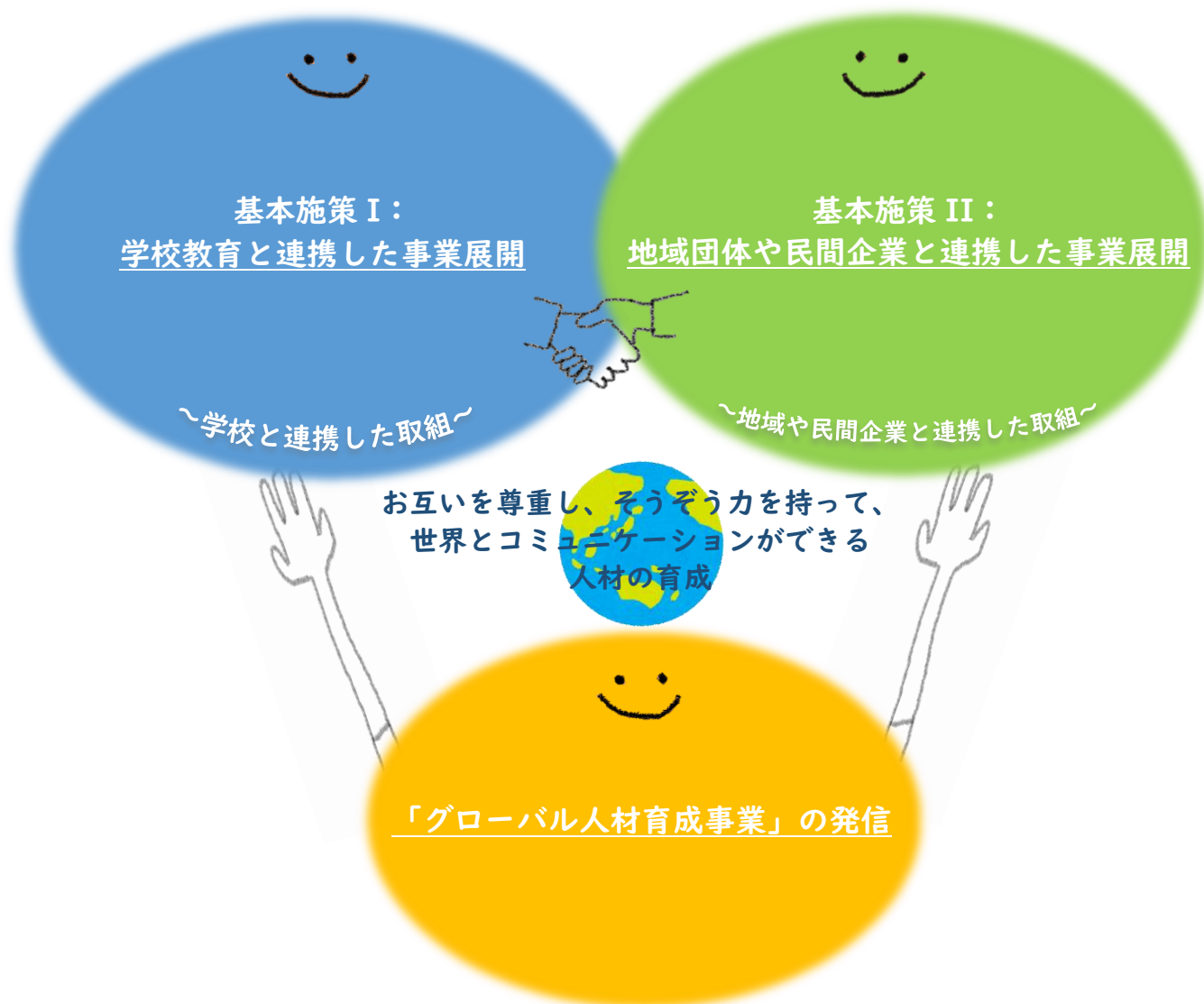
第5章 プランの進め方

1. 推進体制

本市には、世界文化遺産に登録された宗像大社をはじめ、多くの文化遺産と古くから守られている歴史や伝統があり、地元にいながらグローバルな体験や活動ができるグローバルアリーナ、福岡教育大学や日本赤十字九州国際看護大学、日本アジア国際教育センターがあります。このような地域資源に恵まれている本市の特色を生かし、多くのグローバル人材を育成するために、行政が学校、地域、民間企業、市民団体などと連携し、それぞれの役割と目標を認識し、強みを生かした取組を推進することで、効果的かつ幅広い世代の人材育成を図ります。

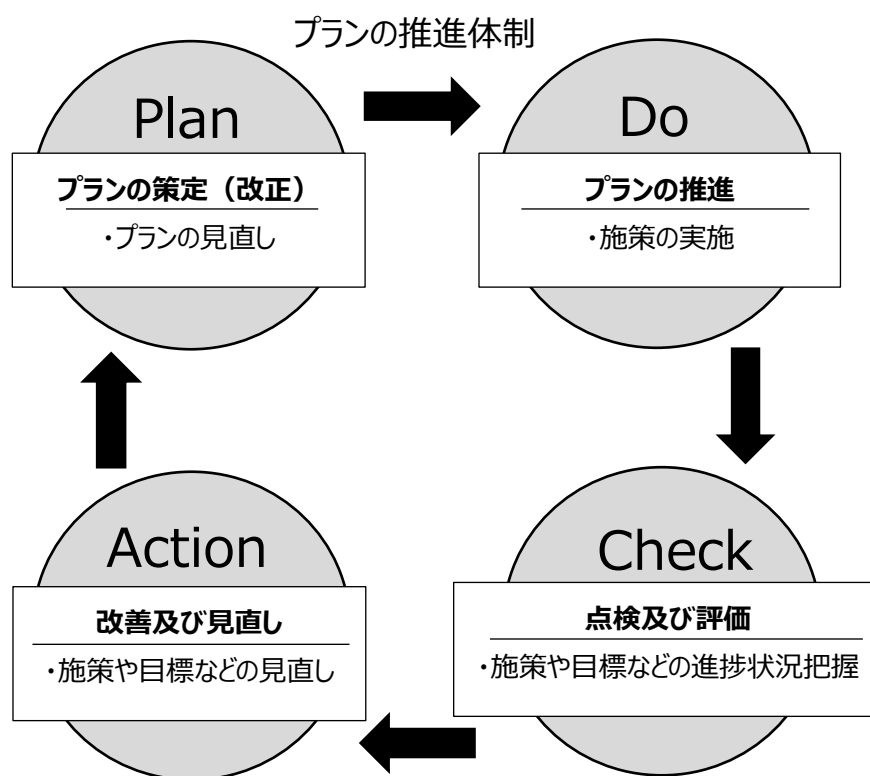
本プランの担当部署である教育子ども部子ども育成課グローバル人材育成係が中心となり、各施策の主体と緊密な連携、協働に努め、必要に応じたコーディネートや支援を行います。

【プラン推進体制のイメージ】



2. 進行管理

本プランに掲げる施策の実現のために、『PDCA サイクル』に基づき、定期的な進行管理を行います。進行管理は、前述の教育子ども部子ども育成課グローバル人材育成係が担当します。各施策の進捗においては、第三者機関である、宗像市グローバル人材育成協議会において、別途、毎年度作成するアクションプランに記載した指標に基づき、実績報告、審議を経て、適宜各事業の改善及び見直しを図ります。



※P (計画)、D (計画の推進)、C (点検及び評価)、A (改善及び見直し) という継続的な進行管理を実現するシステムです。

3. 次期プランの策定

本プラン実施期間の最終年度である令和6年度には、第三者(宗像市グローバル人材育成協議会)を含めて検証の上、第3次宗像市総合計画の策定に合わせて見直しを行い、次期プランを策定します。

宗像市教育子ども部子ども育成課

〒811-3492 福岡県宗像市東郷1丁目1番1号

TEL 0940-36-1214 FAX 0940-37-3046